

#### 第4回 堂谷津の里自然観察会 「春を待つ生きものたち」 2019年2月23日(土)

早春の里山、絶好の観察会日和。ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、キュウリグサが土手を埋め尽くしている。草陰で身を寄せていたテントウムシが暖くなり動き出す。カラスノエンドウにはアブラムシがびっしり、テントウムシのごちそうだ。木々の冬芽は、まだしっかり芽鱗にくるまっているがまもなく動き出すに違いない。昨年来、雨が少なく田んぼは涸れているが、わずかに水がある水路を見つけてアカガエルが産卵。卵塊を容器に入れ、触って感触を確かめたり観察したり。水路には、心地よさそうにアカガエルが夜の交接、産卵を待っているのだろうか。初めて聞く小さな鳴き声。ヨシ原に残るオオヨシキリやカヤネズミの巣を見て引き返す。林縁のシュンランやニワトコの花芽の膨らみに日一日、春へと向かっていることを感じました。(担当: 晝間)



ホトケノザ



キュウリグサ



オオイヌノフグリ



カラスノエンドウ、アブラムシ、テントウムシ



ホオノキ・冬芽



ヌルデ・冬芽





ニホンアカガエル



アカガエル 気持ちよさそうだね..



ニホンアカガエル 卵塊



ぼく 卵にさわれたよ!



メダカとカエルの卵..みつけ!



和やかに観察



シュンラン 花芽



ニワトコ 花芽